

こがねい 散策

緑を感じながら 市内散策をしてみませんか

緑とせせらぎコース

市内南東部の見どころを楽しめるコースです。このうちの一部を紹介します。

- ①栗山公園→東京農工大学科学博物館→②はげの森美術館→③小金井神社→④はげ→武蔵野公園→⑤野川→野川公園



①栗山公園

武蔵野の自然を生かした、水と緑と日の光があふれる市民の憩いの場です。



②はげの森美術館

日本洋画壇の重鎮中村研一作品の他に展示されています。美術の森から流れ出る湧水がはげの小路に流れ込み野川に注がれています。



③小金井神社

菅原道真を祭神とし、元久2(1205)年に天満宮として市内に創建され、天正11(1583)年に現在地に再建されました。



⑤野川

国分寺市恋ヶ窪を源流にし、世田谷区二子玉川で多摩川に合流する約22kmの川です。



④はげ

北側の高い台地と南側の低い台地の境に、段差約15mほどの「はげ」と呼ばれる国分寺崖線が東西に延びており、地下水が湧き出る場所となっています。



桜・公園と憩いコース

市内北東部の見どころを楽しめるコースです。このうちの一部を紹介します。

- ①浴恩館公園→②真蔵院→③小金井公園→④玉川上水→桜樹接種碑→名勝小金井(サクラ)→⑤市杵島神社



①浴恩館公園

旧浴恩館は下村湖人ゆかりの建物で、現在は文化財センターとして利用されています。



②真蔵院

真言宗豊山派慈眼山と称し、木造の聖観世音菩薩を本願としています。淡いピンク色が神秘的な古代ハスは、6～7月が見頃です。



③小金井公園

昭和15年の紀元2600年記念事業で計画された小金井大緑地が前身で、都立公園最大級の規模を誇っています。



④玉川上水

江戸の水道施設として、全長43kmをわずか8か月で開削し、完成したのは四代将軍家綱の時代、承応2(1653)年といわれています。武蔵野台地の新田開発に大きな役割を果たしました。



⑤市杵島神社

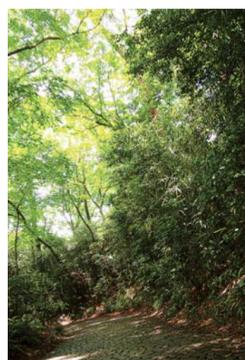
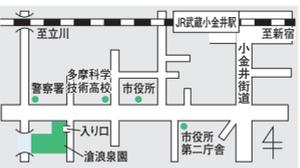
梶野通りから石の鳥居、木の鳥居の2つの鳥居をくぐると拝殿が見えてきます。別名を梶野の弁天様といい、現在でも古くからの習わしを守っています。



あなたの近くの憩いの緑

そうらせんえん 滄浪泉園

- 開園時間 午前9時～午後5時(入園は4時30分まで。火曜日は休園)
- 所在地 貫井南町3-2-28(下図)
- 入園料 大人100円、60歳以上と6～14歳は50円
- 滄浪泉園管理事務所(☎042-385-2644)、環境政策課緑と公園係(☎042-387-9860)



ご活用ください 小金井てくてくマップ

市内の公園や市内のイベント、ウォーキングの効果等の情報を掲載し、楽しみながら歩くことで生活習慣の改善や健康の保持増進を促進してもらえるような内容になっています。

■配布場所 保健センター、市役所第二庁舎1階受付、経済課(同4階)、観光まちおこし協会、主な市内公共施設

■11月に改訂版を発行します

■健康課健康係(☎042-321-1240)

